

宮崎 総長、日向学院の教育司牧共同体訪問

2018年11月9日

サレジオ会、サレジアン・シスターズ、イエスのカリタス会、サレジアニ・コオペラトリー、同窓生、680名余りの生徒と共に

フェルナンデス総長の生徒たちとの対話

Q: フェルナンデス総長は世界をとびまわっていらっしゃる、世界からいろいろな情報を発信していただきますが、今まで行かれた国で最も心に残っている国はどこですか。また、出会った人の中で最も心に残っている若者はどんな人ですか？（中学1年）

A: まず、皆さんに一つ、贈りものをお願いしたいと思います。皆さんの合唱やバンドの演奏を楽しめてとても喜んでます。すばらしい音楽でした！ 集いの最後に質問をしてくれる皆と一緒に写真を撮らせてくださいね。

この5年間でいちばん特別な出会いですか？ 本当に、特別な出会いはありすぎるほどです。特別な体験のない訪問は一つとしてありません。でも、最も心を打った体験は昨年のシリアの訪問でした。私たちは完全に破壊された5千年の歴史をもつ町を訪ねました。その町で、若者たちに目を見張らされつづけました。力強く、希望に満ちた若者たちでした！ その多くは親や兄弟の何人かを戦争で亡くしていました、住む家を失った生徒たちです。たしかに彼らは泣いていませんでした。その内面の強さは驚くべきものです。この若者たちは私たちに語ってくれました、自分たちは人生を歩みつづけると。アレppoとダマスカス、両方の町のサレジオの家のシリアの若者たちは、何と勇気があるのでしょうか。爆撃のただ中で、ほかの子ども・若者をサレジオのオラトリオに連れて来るため町を巡っていました。

でも、訪れた82か国のすべての出会いが特別ですよ！

Q: フェルナンデス総長は何か趣味がありますか？聞いたところによると、ギターが上手だということをお聞きましたが、もしよければぜひ弾いてほしいのですが、どうでしょうか？（中学2年）

A: 私の秘書を紹介します。私たちは訪問旅行中、それぞれのサレジオ会管区でいつも一緒に歌います。スペインの歌を一曲。（演奏）

Q: 私たち中高生にとって一つの大きな悩みは、人との付き合い方です。人と接する時、大切にしなければならないことは何でしょうか？（中学3年）

A: 世界各地を訪れるとき、若者がとても多様なことに気づきます、文化がとても多様だからです。皆さんに言えるのは、人との絆はすばらしい宝物だということです。人間の多様性も、すばらしい豊かさです。自分と同じような考え方をすると一緒にいるほうがずっと楽です。でも、皆さんの中で、違う友達に耳を傾けたいと思う人がいたら、それはすばらしいことです。皆さんに勧めます、ほかの人たちを理解する力を育ててください。そうすることで人生は楽にもなります。もっと幸せにもなりますよ！ 確かに私たちは、自分自身が「完全な真理」を持っているわけではないと理解

しなければならぬのです。皆様のご両親や先生方は、自分の考えをしっかりと持つようにと教えてくださるでしょう。だからといって、いつも自分が正しいわけではありません。簡単ではありません。皆様のお父さん、お母さんもこの旅を歩むように呼ばれています。私たちサレジオ会の共同体も、お互いに理解し合う旅を歩んでいます。シスターたちも。先生も。私たち皆が、この旅を歩むようにと招かれています。でも若いあなた方は、早いうちに歩み始めなくてはなりません、周りの人に心と考えを開いていくために！

Q: これまでの歴代の総長は偉大な方だったと思いますが、フェルナデス総長が総長になられた時、どんな気持ちで引き継ごうとされ、どんなことを大切にされようと思われましたか？また目標にされている総長はいますか？（高校1年）

A: 以前は、自分が総長になるとは思ってもみませんでした。任期が終わったらどこかのサレジオ会の支部に戻り、若者のための仕事を続けるでしょう。そのように強く思っています。

私はどのような気持ち、心でこの奉仕を果たしているのでしょうか。心の中でよく考えます：ドン・ボスコだったら、今日、サレジオ会員やサレジオ家族の皆さんと一緒に何をしようかと。皆さんに言いますが、私たちが必要とする若者と共にいるとき、私たちは幸せです。言い換えれば、私たちは決して若者から離れることはできません。それはドン・ボスコの心、ドン・チマッティの心、私たちの先を歩んだサレジオ会員の、そして現代の私たちサレジオ会員の心なのです。ここにいて皆さんに仕えること！ このことが、私の心に宝ものようにあります！

Q フェルナデス総長にとって、ドン・ボスコというのはどういう存在で、どのようなどころを一番尊敬していますか。そして、もし、今会えたとしたら、どのような質問をしたいと思われていますか？（高校2年）

A: 私にとってドン・ボスコはサレジオ会員やサレジオ家族みんなの「パパ」です。私がいちばんすばらしいと思うのは、ドン・ボスコが若者のために自分の命をささげたいと願ったことです。ドン・ボスコは本当に深く子どもたちを愛していました。ドン・ボスコの最もすばらしい点と思うのは、若者への無条件の愛です。サレジオ会員が今日も、135のすべての国で、ドン・ボスコと同じ心で生きているのを見るのはすばらしいことです。もしドン・ボスコが今、皆さんの中に共にいたなら、皆さんから深く愛されるでしょう。それは確かです！ 私たちは皆さんの中で「もう一人のドン・ボスコ」になろうとしています。そして皆さんのただ中にいつも共にいたいと思っています。

Q 神様は、世界中の人が幸せになってほしいと願っていらっしゃると思っています。しかし、世界を見渡せば世界中にはまだ戦争をしている国があり、私たちと同じような年代の若者たちが死んでいく現実があります。また、私たちの周りにも罪のない人が不幸にあたり、苦しんだりする現実があります。私たちはその現実をどう考えればいいのでしょうか。神様は私たちに試練を与えるためにそのような現実を与えるのでしょうか。そして、私たちはそういった国々、人々に対してただ祈るだけしかできないのでしょうか？（高校3年）

A: 最も大切なことは、人としての心を育てることです。困難の中にある人々の痛みを感じることでできる心です。もちろん、大変な状況に置かれている人たちのために私たちは祈ることができます。また、率先して行動するよう皆さんに呼びかけたいと思います。困っているほかのサレジオの学校を支援してください。皆さんの共同体、700人の生徒、先生方、家族の皆さんで、何かを変えることができるでしょう。何か特別な取り組みをするよう招きます。しかし、ここで教育を受けている若い皆さんにとっていちばん大切なのは、人のニーズに敏感な心を育むことです。この学校を卒業した後、皆さんは、前よりもより自己中心的になるでしょうか、それともより広い心を持つでしょうか、より感受性豊かになるでしょうか、それとも無関心になるでしょうか？ 人との関わりを築く力が育っているでしょうか、それともより個人主義的になっているでしょうか？ このことが、すべてのサレジオの「家」で最も大切なことです。その上で、数学や英語、スポーツや音楽もよく学ぶのは大切ですが、卒業した後、生徒たちは心の内にどのような価値観を持っているでしょうか。先生方はこの問いをいつも心に持ち、皆さんのご両親と分かち合うべきです。

最後の3つの質問を読み上げます。

Q: 僕はまだ将来の夢が決まっていません。これからどのようなことに心掛けて自分の夢を見つけていけばいいのでしょうか？（高校3年）

Q: サレジオ会に入り、神父となって幸せですか？また、幸せとを感じるのはどんなときですか？（中学3年）

Q: 私たち中高生にとって、大切なことは何だと思いますか？また、どんな人間になってほしいですか？（高校1年）

A: 1つ目と3つ目の質問に応えましょう。一番大切なことは、自分の人生に対して夢を持つということです。10年後にどんな仕事をしているかということを知りなさいと言っているわけではありません。そうではなく、幸せでありたいと望むことです。そのように他の人に奉仕していきたいと思うことが大切です。みなさん、頭だけを使うだけでは十分ではありません。大切なのは、自分の心の声に耳を傾けることを学ぶことです。私の心の中では何を感じているのか、どんな声に耳を傾けているのか、どんな自分でありたいのか。

次に、2番目の質問に応えましょう。一人のサレジオ会員、サレジアン・シスター、カリタスのシスターにとって最も素晴らしいことは、自分が寄り添い共に歩んだことで一人の人がより幸せになることです。例えば、自分を必要とする一人の子ども・若者を助けることができたときです。私にとってサレジオ会員としていちばん幸せなのは、一人の男の子、女の子の人生を助けることができたときです。